

# はじめてのファシリテーショングラフィック

第3回 VSプロジェクトミーティングより

8月9日(木) 9:00~12:00

関市役所 6階 6-4会議室

**ファシリテーショングラフィック**とは、議論を文字やイラストで“見える化”する技法です。今、関市でこの技法を自主的に学び、いろいろな地域活動の場面で実践しているという大人がいて、一方で、活動を通してたくさんの人と関わっていくスキルがほしい高校生がいて、それぞれの思いがマッチングすることで、今回の研修が実現しました。

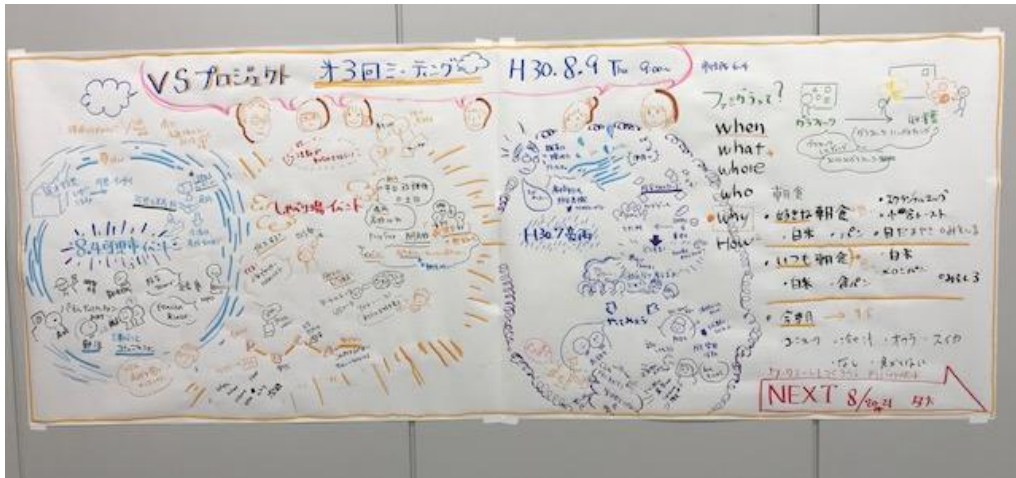
研修には、関市市民活動センターの職員である**林加奈さん**をゲスト講師として招いて、「ファシリテーショングラフィック」に加えて「話を聞くコツ」を題材に、実践を交えながら学んでいきました。

はじめに、ファシリテーショングラフィックとは、どういうものなのかという部分から、実際に高校生がこの手法を活用するのはどんな場面があるのか、そして話題の雰囲気や話し手の表情を表すような“アイコン”と呼ばれる簡単なイラストの練習をしました。それを、3人一組のグループに分かれて、話し手、聞き手、書き手の3役に分かれて実践演習を行いました。最初は自分にできるか不安だと言っていた高校生も、演習を通して、話の引き出し方や読み返したくなるメモの取り方を、自分が楽しみながら学んでいたのがよかったです。



### <高校生の感想>

- ・お互いに話を聞いたり、話したりして楽しかった。
- ・ファシリテーショングラフィックをしながら話を進めていくと視覚的にもよかった。
- ・自分は絵を書くことが好きだから紙いっぱい書くことが楽しかった。
- ・初めて聞く事ばかりで新鮮だった。



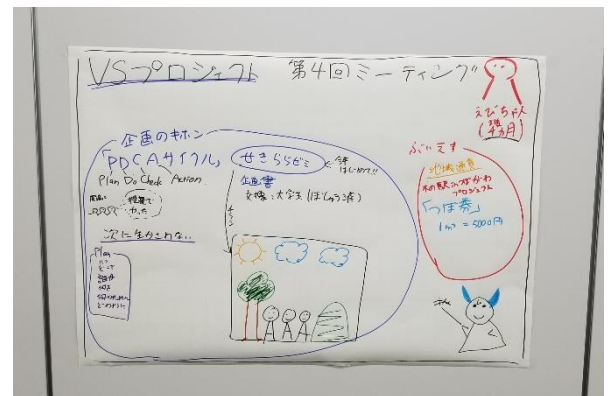
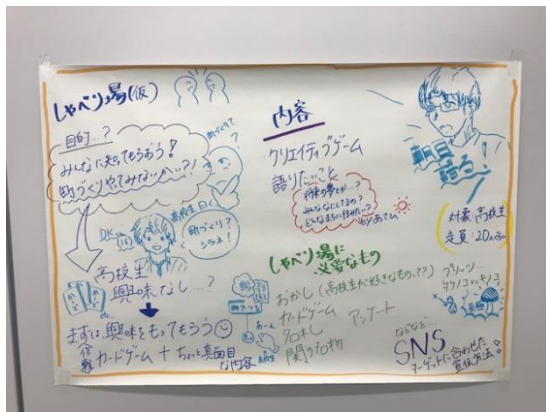
↑ 林先生がミーティングの様子をまとめてくれました。

色使い、アイコンの種類、表情、すべてに高校生は感動していました！



3時間のみっちりの  
研修に高校生は積極  
的にとりくみまし  
た！充実感の伝わる  
良い表情です。

後日行われた第4回ミーティングで、研修を受けた高校生がさっそくファシリテーショングラフィックに挑戦してくれました。手ごたえを感じる子もいれば、時間内に思うようにまとめられないと感じる子もいて、改めてこの技法の難しさと奥深さを感じる機会になりました。高校生が学んだことをすぐに実践すること、そして何度も繰り返して自分のスキルを磨いていくことを実感してくれたと思います。



ミーティングで高校生が作成してくれたグラフィックは、現在、関市役所市民協働課に掲示してあります。

今後のVSプロジェクトの活動において、今回学んだファシリテーショングラフィックがどう生きてくるのか、楽しみにしててください。